

認知症のくすりについて

認知症の治療には、2024年9月現在5種類のお薬が使われています。いずれのお薬も認知症を完治させるのではなく、**進行を遅らせる作用**があります。

商品名 (一般名)	剤形	特徴	用法	副作用
①ドネペジル (アリセプト®)	錠剤 OD錠 液剤 ゼリー 散剤	レビー小体型認知症 にも適応あり	1日1回 内服	頭痛 消化器症状 (下痢・嘔吐) 興奮、落ち着きのなさ等
②ガランタミン (レミニール®)	錠剤 OD錠 液剤	アミロイドβによる神経細胞障害に対する細胞保護作用あり	1日2回 内服	頭痛 消化器症状等
③リバスチグミン (イクセロン® リバスタッチ®)	貼付剤	唯一の貼り薬	1日1回 貼りかえ	消化器症状 接触性皮膚炎 (皮膚症状)等
④メマンチン (メマリー®)	錠剤 OD錠 散剤	焦りや興奮 などにも効く	1日1回 内服	めまい 頭痛 眠気等
⑤レカネマブ (レケンビ®)	注射剤	●軽度認知障害の 時点から使用可 ●定期的にMRI検査が必要	10mg/kgを 点滴で投与 2週間に1回、 1回1時間	脳の出血 脳のむくみ めまい 頭痛 吐き気等

認知症の進行の程度と上記お薬

